

蛍池寮「楓」が 2019年度グッドデザイン賞を受賞

蛍池寮「楓（かえで）」が、このたび2019年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。

◆ 受賞対象名：蛍池寮「楓」

◆ 概要：大阪府豊中市の住宅街に位置する企業の独身寮。社員同士の自然なコミュニケーションを誘発するような風通しのよい独身寮を目指して、2人でシェアされたキッチンからプライベート空間とパブリック空間がつながる「シェアキッチンでつながる30人のすまい」を実現した。

◆ グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

次世代の独身寮がどうあるべきか、という問いに対し、パブリックとプライベートをつなぐ中間領域として、2室で共有する「シェアキッチン」を設け、段階的に領域を拡張できるようにした点が大変優れている。また、個室は全て角部屋となっており、限られた面積でありながらもコーナーに開口部を設けることで開放的に作られてる点も評価したい。パブリックスペースを半屋外空間とすることで、個室の通風・採光条件を改善し、イニシャル・ランニング双方のコスト縮減を図っている点は評価できるが、一方で30人が集まって暮らす寮として、室内化された共用空間が本当に必要なかったか、今後の住まい方の経過観察により、再検証されたい。

◆ グッドデザイン賞紹介ページはこちら

<https://www.g-mark.org/award/describe/49358?token=9o61E13Njb>



グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>